

奈良県教育委員会

週報

第2391号

令和4年8月25日発行

目 次

(件 名)	(宛 先)	(主管課)	(頁)
令和5年度高等学校等進学予定者に対する育成奨学金の予約申請について	各市町村教委教育長 各中学校長 各義務教育学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校支援課	1
令和4年度奈良県中学校外国語科英語教育研究大会の開催について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各義務教育学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学ぶ力 はぐくみ課	4

(次の週報は、令和4年9月8日(木)発行の予定です。)

各市町村教委教育長
各中学校長
各義務教育学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

}

殿

奈良県教育委員会教育長

令和5年度高等学校等進学予定者に対する 育成奨学金の予約申請について（通知）

令和5年4月に高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）又は専修学校の高等課程（奈良県高等学校等奨学金貸与条例施行規則に定めるものに限る。）への進学予定者で、入学後「育成奨学金」の貸与を希望するものに対する予約申請を下記により受け付けますので、生徒への周知及び申請についてご配慮くださるようお願いいたします。

記

1 募集概要

(1) 申込資格

ア 令和5年4月に高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）又は専修学校の高等課程（奈良県高等学校等奨学金貸与条例施行規則に定めるものに限る。）に進学を希望している者

イ 親権者又は未成年後見人が県内に住所を有している者

ウ 向学心に富み、学習態度及び学習状況が良好であると認められる者

エ 経済的理由により、修学が困難と認められる者

オ 地方公共団体その他公共的団体から、学資の貸与又は給付を受けていない者

(注1)アについて・・・特別支援学校への就学奨励に関する法律（昭和29年法律第144号）による経費の支給を受けている者へは貸与できない。

ウについて・・・学習成績の評定を全履修科目について平均した値が3.0以上であること（5段階評価、小数第2位四捨五入）。中学校第3学年に

おける予約申請においては、中学校第1学年から第2学年までの全履修科目の評定平均値とする。

エについて・・・世帯全員の収入額の合計が生活保護基準の1.5倍以内であること。ただし、特に意欲があると認められる場合にあっては、生活保護基準の3.0倍までとする。

(2) 受付期間

令和4年10月3日(月)～令和4年10月31日(月) (必着)

(3) 募集人数

100名以内

(4) 推薦及び提出書類

ア 中学校長、義務教育学校長、中等教育学校長及び特別支援学校長（以下「中学校長等」という。）は、奨学金貸与希望者のうち上記(1)申込資格に合致すると認めたものについて、この奨学金は返還が必要であること及びその返還金が新たな奨学生の貸付原資になることを本人及び親権者等に周知のうえ推薦すること。

イ 推薦に際しては、予約申請者より次の書類を提出させること。

(ア) 「**育成奨学金貸与予約申請書**」（親権者又は未成年後見人が連署したもの。）

(イ) **住民票謄本（世帯全員）**（記載事項欄の省略のないもの。本籍地・マイナンバーは必要ない。）

(ウ) **所得に関する市町村長発行の令和4年度課税証明書（注2）**

（注2）所得金額、扶養人数、社会保険料等の控除金額及び課税金額の記載されたもの。非課税証明の場合は非課税理由が記載されたもの。原則として世帯構成員全員分が必要であるが、被扶養者であることが課税証明等で確認できる者の分は不要。生活保護を受けている世帯は、生活保護受給証明書又は生活保護決定通知書の写しが必要（世帯全員の氏名を確認のこと。記載ない者は、上記の所得に関する証明書が必要）。

ウ 中学校長等は、前記（ア）（イ）（ウ）に加え、「**奈良県高等学校等奨学金（育成奨学金）予約推薦書**」・「**奈良県高等学校等奨学金（育成奨学金）予約申請者一覧表**」を作成し、奈良県教育委員会事務局学校支援課授業料奨学金係へ提出すること。

(5) 予約採用者の選考

奈良県教育委員会において審査を行い、予約を認める場合は「育成奨学金貸与内定通知書」（以下「内定通知書」という。）を学校へ送付する。（12月頃の予定）

2 本採用手続

「内定通知書」を受け取った者は、令和5年4月に高等学校又は専修学校の高等課程に入学した後、速やかにその「内定通知書」を入学した学校へ提示するとともに、育成奨学金の新規申請手続きを行うこと。

3 貸与月額（令和4年度実績。無利子での貸与）

国公立	18,000円	(5,000円)
私立	30,000円	(17,000円)
自宅外加算	5,000円	(5,000円)
へき地加算（へき地自宅通学者のみ）	12,000円	()

※（ ）内金額は、生活保護高等学校等就学費の受給者への貸与額

4 返還について

奨学金の貸与を受けている者が、卒業又は退学したときは、その月の翌月から6か月を経過した後、10年間の均等払いで返還する（一括返還も可能）。

<3年間貸与者の返還額の例>

貸与区分（自宅通学者）	貸与総額	半年賦の返還額	月賦の返還額
国公立	648,000円	32,400円	5,400円
私立	1,080,000円	54,000円	9,000円

※次の場合、申請によって返還が猶予（返還の開始時期を一定期間先へ延期）となる。

- ① 本人が、短大・大学・大学院、専修学校等に在学している場合
- ② 本人が、疾病や災害、その他やむを得ない特別な事情等で一時的に返還が困難になった場合

5 その他

申請に必要な書類等については、9月中旬に関係各学校へ郵送する資料を複写すること。
資料がない場合は下記まで問い合わせること。

奈良県教育委員会事務局 学校支援課 授業料奨学金係

〒630-8502 奈良市登大路町30番地

TEL 0742-27-9859

FAX 0742-27-2985

URL <http://www.pref.nara.jp/13014.htm>

各市町村教委教育長
各小・中学校長
各義務教育学校長
各中等教育学校長
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

令和 4 年度奈良県中学校外国語科英語教育研究大会の 開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

小・中学校の各段階を通じてグローバル化に対応できるコミュニケーション能力を育成するため、教育課程、指導法、教材、評価方法等の研究開発や、内容の高度化や着実な定着を実現するための指導法の研究開発を行い、その成果を広く県内小・中学校に周知する。

2 主 催

奈良県教育委員会、橿原市教育委員会、奈良県中学校教科等研究会英語部会

3 期日及び会場

令和 4 年 1 0 月 2 4 日（月）

県立教育研究所

4 参加対象者

県内小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の
教員

5 日 程

1 3 : 3 0 ~ 1 3 : 4 5 開会行事

13:50～14:30 実践発表

14:40～15:00 指導講評

15:00～16:20 講演

16:20～16:30 閉会行事

6 実践発表

「My ideas for making communicative English Lessons that focus on interaction and presentation」

檜原市立大成中学校 萩原 亘祐

7 指導講評

県教育委員会事務局学ぶ力はぐくみ課 指導主事 松本 彩恵

県中学校教科等研究会英語部会 会長 藤井 仁

8 講演

演題 「Grammar teaching that can lead to students' speaking」

講師 奈良教育大学 教授 佐藤 臨太郎

9 参加申込み

令和4年10月14日（金）までに下記の参加申込フォームに必要事項を入力し、送信すること。

【参加申込フォーム】

URL <https://forms.gle/gTNJVxMCRFr3cEzv8>

※ 右記QRコードからもフォームへのアクセスが可能



10 問合せ先

生駒市立上中学校 教諭 出井 義雄

TEL 0743-78-4140